

「港湾関連民間技術の確認審査・評価事業」

・2021年9月30日 評価技術

第 21002 号	
技術の名称	浚渫土を原料とするリサイクル実用化技術(脱水固化石材)
依頼者	りんかい日産建設株式会社、伊藤忠 TC 建機株式会社、ラサテック株式会社
技術の概要	浚渫土を原料とするリサイクル実用化技術(脱水固化石材)は、浚渫土(高含水比粘性土)にセメントを添加した後、特殊なる板を有する高圧フィルタープレス機にて、最大ろ過圧力 4MPa で脱水固化することにより、脱水固化石材(人工石材)を製造するものである。脱水固化石材の製造模式図を図-1、高圧フィルタープレス機を図-2、脱水固化石材の単体の写真を図-3 に示す。
評価の結果	(1)人工石材の個体の一軸圧縮強さが、JIS A 5003「石材」に定める準硬石の圧縮強さの規格値を満足することが確認された。また、人工石材のすりへり減量が、砕石のすりへり減量の規格値(国土交通省の「土木工事共通仕様書」)を満足することが確認された。さらに、人工石材のスレーキング率が、ドレーン材のスレーキング率の規格値((社)全国産業廃棄物連合会の「建設汚泥リサイクル製品評価のための自主基準」)を満足することが確認された。 (2)人工石材の個体の形状が、JIS A 5006「割ぐり石」に定める厚さ／幅、長さ／幅の規格値を満足することが確認された。 (3)人工石材の個体が、0.1～3kg/個の質量を有する石材として製作可能であることが確認された。

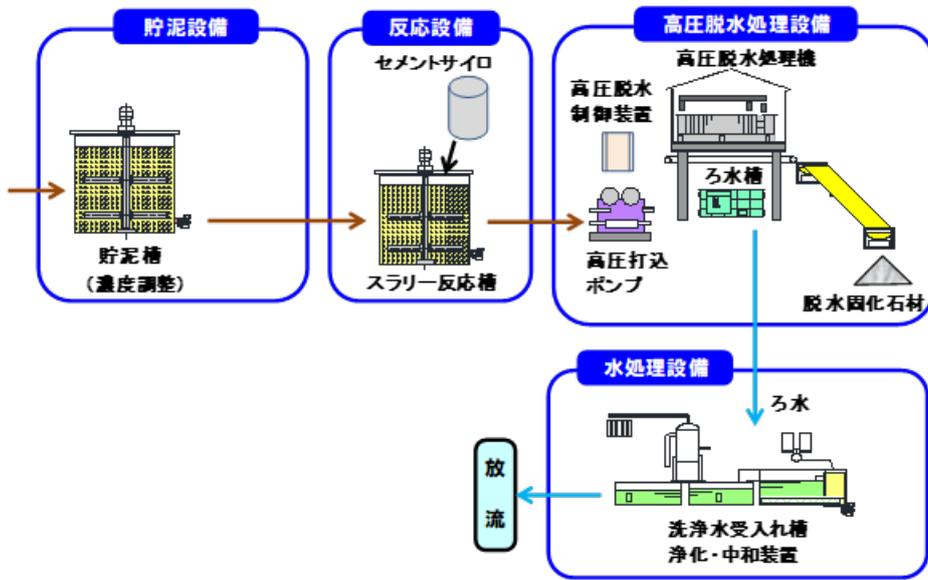


図-1 脱水固化石材の製造模式図



図-2 高圧フィルタープレス機



図-3 脱水固化石材